

道標ない旅 **自分も人も大切に**
 ~思いやり
 ・チャレンジ
 ・しなやかな心~



令和2年度 第7号
 2020.6.9発行
 葉山町立長柄小学校
 校長 益田孝彦
 Tel. 046-875-6860
 Fax. 046-876-0682
<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 6月第1週の学校の様子を簡単に紹介いたします。 ◆◆

待ち遠しいのでしょうか、午前の部の児童の登校状況は、出足が早く、8：10開門時にはほとんどの児童が登校しています。（午後の部の方が、時間に上手く合わせて登校してきます。）欠席は少なく。手洗い・マスク着用も意識して取り組んでいる印象がしています。

授業も始まりました。運動不足解消のため、校庭で体育に取り組む学年を見かけます。工夫したかけっこ（リレー対抗戦）を取り入れたりしているようで、「もう1回」という児童の要望も聞こえる中、熱中症対策に腐心している先生方の指示もよく聞こえてきます。水分の積極的な補給に努めさせているのがよくわかります。

金曜日に登下校する児童に「疲れていない？」と沢山の児童に声掛けしたところ、元気な回答が多く、月曜日からも元気に登校してくれそうだと感じました。久々の授業にも前向きな児童が多いように感じています。

ちょっと大変そうに見えたのは、先生方でした。午前の児童を送り出すと、すぐに昼食を取り、午後の児童を迎える準備をします。6月1・2日頃は特にでしたが、ペースを掴みずには先生方もぐったりした様子がかげえました。土日の休みで英気を養い、気分一新、今週も子どもたちのために頑張り始めています。

◆◆ 動画配信プロジェクトは、一旦休止いたします。 ◆◆

6月1日の神奈川新聞で大きく取り上げられた葉山町の動画配信プロジェクトでしたが、目の前の授業準備等に集中するため、6月2日共通動画2本の追加をもって、一応休止することになりました。動画はまだしばらくは閲覧できますし、このシステム自体は、コロナウイルスの第2波、第3波の襲来の備えて、残すことになっています。長柄小学校の先生方も様々な努力をして参りました。児童に良い刺激になってくれたと信じています。ご視聴ありがとうございました。

◆◆ 重要！！SC（スクールカウンセラー）さんの長柄小学校の配置日が大きく変更になりました。 ◆◆

以前「道標ない旅第3号」でお伝えしておりました、スクールカウンセラーが来校される日程及び、時間・回数に大きな変更があります。

7時間設定の日は無くなりましたが、19回の来校予定が、23回に増え、来校日スケジュールも大きく変更になりました。8月にも来校日がありますので、是非活用して下さい。

非常事態宣言は解除になりましたが、コロナウイルスの脅威が無くなったと感じている方はほとんどいないと思います。熱中症を心配しながらも、マスクを手放せない生活は、ストレスとなって皆さんを締め付けているのでは無いでしょうか。

SCさんに相談したいことがある方も多いと推察しています。実際に相談してみると、もっと早く相談すれば良かったと思うのではないのでしょうか。

月	9:00~16:00		10:00~15:00		回数計
4			23	1	1
5			7, 21	2	2
6	11	1	4, 26	2	3
7	16, 30	2	2	1	3
8	24	1	20	1	2
9	3	1	17, 24	2	3
10	15	1	29	1	2
11	5	1	26	1	2
12	10	1		0	1
1	21	1		0	1
2		0	4, 18	2	2
3		0	4	1	1
合計		9		14	23

◆◆ 6月10日は5年生の田植えを実施する予定です。 ◆◆

こんなご時世ですが、田んぼを提供して下さっている さんのご協力で、田おこし（動画でも紹介中）から、耕運機での準備を終え、田植えが出来る状態になっています。10日水曜日、天候さえ許せば5年生が三密を避けながらも田植えを経験します。とても貴重な経験になると思っています。天候を期待したいと思います。



◆◆ 今週も同様の措置を執りますが、一斉登校となる6月15日からの、学校安全対策 ◆◆

6月15日からの週は、午前3時間授業ではありますが、全クラス全員登校しての授業実施となります。ここでは学校の取る安全対策を確認したいと思います。

- ・残念ながらクラスの分割は出来ません。クラスの端から端まで使って、机間隔を広げるよう指導します。
- ・密閉は防ぐよう、空調をつけながらも、窓を開けて、空気を通すように留意します。
- ・密接を避けるため授業内容の適性を全教科検討を終え、年間授業計画を練り直し、完了しています。
- ・教員は、マスクを着用します。事前に注文したフェイスシールドが学校に届き、利用を始めた教員もおります。湿気でシールドが曇ったりするようで、常時着用とはいかないようです。怖がる低学年児童やシールドで視野が湾曲する傾向もあるので、フェイスシールドの着用については、推奨しますが任意としたいと思います。
- ・児童の習慣として一番大切なのは、手洗い・マスク着用です。うがいも推奨しますが、必須とはせず、任意とします。なお、手洗い場の三密を避けるため、PTAのご協力を取りそろえたアルコールのハンドジェルを活用します。手洗いとハンドジェルを両方する必要は無いと考えていますが、希望者には担任に対応するよう指示を出しております。また殺菌消毒は界面活性剤の「簡単マイペット」を使用します。
- ・現在保健室業務は、保健室・校長室・職員室の3部屋を活用しております。養護の先生の動きの良さ、保健室に心を休めに来る児童もきちんと受け入れられるため、校長室も準備を整えております。職員室ではケガの治療が出来る体制を取っています。



こういった安全対策を施しております。各ご家庭には、これらと連動して、朝の検温・体調チェックのご支援と、体調不良のお子様には無理をさせないご配慮をお願いします。不顕性（症状の現れない）状況の見極めは、ほとんど困難なことだと理解しています。願わくば、非常事態宣言が解けても、リスクの高そうな場所や機会をご家族の方全員が積極的に選ばないことが、学校を守って頂く最大の支援になります。外食やショッピングなどは大丈夫だと思いますが、テレビなどで警告されている場所や機会は出来れば一考をお願いします。

◆◆ コミュニティスクールについて ◆◆

私の学校運営方針の一つに、「地域を愛し、地域から愛される学校」があります。その具体に、「学校関係者評価委員会、教育懇話会、避難所運営委員会の活動を通し、コミュニティスクール化への準備を進めていく。」と発表しています（道標ない旅第2号参照）。

では、コミュニティスクールとは、どんな学校でしょう。一言で言えば、「学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる、『地域と共にある学校』」です。

文部科学省は、学校のコミュニティスクール化を急いでいます。学校は地域の核となる場所だと言われている。全国的に見れば、少子化が進み、学校という組織を継続的に維持するには、地域の協力がどうしても必要になっている学校が、都市部を除くほとんどです。だからこそ社会総掛かりの学校づくりが急がれているのです。

ところで、例えば神奈川県は全校コミュニティスクールになりましたが、「高校を支える地域」の設定の難しさや、管理職が地域の声を取り入れるのが苦手な場合、運営協議会（コミュニティスクールの会議母体）がうまく動かない等、導入の難しさが聞こえてきます。一方、昨年度（南郷中学校校長の時）、町教育委員会と視察に訪れた、横浜市立東山田中学校の運営協議会は、学校と運営協議会がとてもいい感じにかみ合っており、素敵なコミュニティスクールを構築されていました。もちろん長柄小学校としては、後者を目指すわけですが、コロナウイルス感染の中、いくつかの先進校視察を随時企画して勉強させていただこうと考えています。その際には皆さまに視察報告を必ず行いますので、楽しみに待っててください。



◆◆ 修学旅行について ◆◆

さまざまな学校行事について、実施・延期等の連絡をその都度させていただいている中で、修学旅行の実施の有無を早めに知りたいという声もあると思いますので、現段階での見通しをお知らせいたします。

修学旅行については、車両や旅館内において「3つの密」を避けることが不可能なことから、現段階では、実施が難しい状況です。旅行代理店からは、6月末までに判断してほしい旨を葉山町小学校校長会に依頼されております。従って今後の状況の変化を注視しながら、6月末日をもって実施の有無を最終判断いたします。

修学旅行は町内の全小学校に関わる問題ですので、町内4校で十分協議をした上で決定します。また専用列車を仕立てることから、同乗する逗子市、横須賀市、三浦市の動向も鑑みる必要がありますので、併せてご理解いただきますようお願いいたします。

尚、延期の考えにつきましては、春に実施予定であった県内他地区が、すでに延期をしており、3月まで空きが無い場合、延期は不可能な状況です。

6年生児童にとって、一生に一度の大切な行事であることは十分承知しておりますが、児童の安全を第一に判断して参りたいと存じますので、何とぞご了承のほど、お願いいたします